

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 27 年 8 月 19 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2015 年 7 月	気 温 ()						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比 (%)	平年比 (%)		
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	23.7	-4.4	19.1	-1.1	21.2	-2.5	141.0	243	8.1	21
中旬	32.8	3.2	23.5	1.9	27.7	2.6	102.0	221	78.4	196
下旬	34.3	3.2	25.3	2.6	29.1	2.9	24.0	41	89.5	143
平均	30.4	0.8	22.7	1.2	26.1	1.1				
合計							267.0	164	176.0	123

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区北の丸公園）

気 温：上旬は低く、中旬は高く、下旬はかなり高かった。

降 水 量：上・中旬は多く、下旬は少なかった。

日照時間：上旬はかなり少なく、中旬はかなり多く、下旬は多かった。

上旬：梅雨前線が本州南岸に停滞することが多く、曇りや雨の日が続いた。特に、3 日は前線の活動が活発となったため、大雨となった。

中旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れとなった。期間の後半は、台風第 11 号や南からの暖かく湿った空気の影響で曇りや雨となった日があり、特に、16 日は大雨となった。なお、関東甲信地方は 7 月 19 日ごろに梅雨明けしたとみられる（速報値）。

下旬：期間のはじめと終わりに気圧の谷や南からの湿った空気の影響で曇りや雨となった日があったが、その他の日は太平洋高気圧に覆われて晴れとなった。また、気温は平年を上回って推移し、かなり高い日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：露地のトマト、キュウリ等については高温の影響で成り疲れや枯死するものがみられた。ナスも草勢がやや劣り、すれ果が多い傾向であった。エダマメ、スイートコーンはおおむね順調で、生育がやや早まった。

葉根菜類：施設コマツナは前半の日照不足で株がやや細い傾向であった。キャベツ、ブロッコリーなどの苗の生育はおおむね順調であった。ニンジンの発芽はおおむね順調

であるが、後半の乾燥によって播種が遅れた地域があった。

いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：天候の影響で、肥大にムラが出ており、一部で裂果の発生がみられた。

(4) 茶樹

7 月の生育状況は、ほぼ平年並であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病（平野部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
いもち病（山間部）	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	フェロモントラップと予察灯の誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	予察灯の誘殺数はやや少なかった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病虫害

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかったが、一部圃場ではやや多かった。

オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかったが、一部圃場で多かった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
斑点細菌病	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
半身萎凋病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ダイズサヤタマバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 (6) 植木の病害虫		
街路樹など		
チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (7) 島しょの病害虫		
八丈島：カンキツでハマキムシ類、野菜類で吸蛾類の発生が多かった。		

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月13日	8月7日	0	0
大田市場	7月13日	8月7日	0	0
板橋市場	7月13日	8月7日	0	0
淀橋市場	7月13日	8月7日	0	0
北足立青果市場	7月13日	8月7日	0	0
青梅青果市場	7月9日	8月6日	0	0
八王子北野市場	7月9日	8月6日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月9日	8月6日	0	0
国立市場	7月9日	8月6日	0	0
東久留米市場	7月9日	8月6日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、国立市場で1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。